



洗心

令和7年度卒業式号

令和8年1月24日発行

発行所

近畿大学附属

新宮高等学校

中学校

新宮市新宮 4966 番地

第六十一回 高等学校 卒業証書授与式

式 辞

校長 池上 博基



校庭にも学園の徽章、梅の花がほころび始めた今日の
よき日に、和歌山県知事代理・東牟婁振興局長 今井善
人様、並びに新宮市長代理・理事兼総務部長 南守様を
はじめ多数のご来賓、そして保護者の皆様のご臨席を賜
り、また、本日は、学校法人近畿大学理事長 世耕弘成先
生にもご出席いただき、第六十一回 近畿大学附属新宮
高等学校 卒業証書授与式を盛大に挙行できますことを
心より感謝申しあげます。

ただ今、卒業証書を授与しました卒業生九十八名の皆
さん、ご卒業おめでとうございます。一人ひとりが三年
間、中高一貫の卒業生は六年間、たゆまぬ努力を積み重
ね、本日、卒業という生涯忘れられない日を迎えること

ができました。その努力に対し、心から拍手を送り、祝
福したいと思います。

保護者の皆様、長い間、陰に日向に、時には共に笑い、
時には心を痛めながら、ここまで育ててこられたことに
敬意を表しますとともに、心からお祝い申しあげます

卒業式は生徒にとって学校生活最後の、最も重要視さ
れる集大成の行事です。学校にとつても、卒業式は学校
自身の教育成果が問われる儀式です。われわれ教員が、
「本校で学んでくれてありがとう」という感謝の気持ち
を伝え、「本校での学校生活を忘れずこれからも頑張っ
てください」と激励する行事です。教職員一同、卒業生
の皆さんの心に残る卒業式になればと願っています。

さて、卒業生の皆さん、皆さんは「実学教育」と「人
格の陶冶」を建学の精神とし、「人に愛される人 人に
信頼される人 人に尊敬される人 になろう」という本
校校訓のもと、三年間の高校生活を過ごしました。

日常生活の中で、人から愛されること、信頼されるこ
と、尊敬されること、このことを実感するとき、人は自
分自身の存在感、充実感や満足感を得ることができ、と
ても幸せな気持ちになります。幸せな気持ちを持てる人
でありたい、これが校訓の意図するところです。

では人を幸せにするためにはどうすればよいか、それ
は、自分が幸せであると実感させてくれる行為、つまり、
人を愛し、信頼し、尊敬することです。

三年前、皆さんが近畿大学附属新宮高等学校に入学す
る際に、近畿大学創設者、世耕弘一先生のお話をしまし
た。弘一先生は「学問だけでは世の中は渡れない。人格
が必要である。まず人から愛され、その上で豊かな教養
学問が身に付けば、当然ながら、周りから信頼され尊敬
される。人格という器に学問を詰め込むことが大切であ
る。」「心を中心として充実すると、姿かたちも整って
くる。あれはこの学生かといえば近畿大学の高校生だと、
姿かたち、行儀作法がよいといって後姿だけで判る。」
と述べています。もちろん、われわれ教職員も、どのよ
うな場でも誰にでも、あれは近畿大学の教職員だと言っ
ていただける研鑽を積むことが必要である、とお話しし

ました。

卒業生の皆さん、新しいステージへの旅立ちです。こ
れからの人生においても、さまざまな苦労や課題に直面
することがあるでしょう。「人を愛し、人から愛される。
人を信頼し、人から信頼される。人を尊敬し、人から尊
敬される。」この理念を大切に学んだ近畿大学附属新宮
高等学校の卒業生として、自信と誇りを胸に激動の社会
を力強く生き抜いてください。

結びにあたり、本日の卒業を祝し、ご列席を賜りまし
た、ご来賓の方々、保護者の皆様に重ねてお礼申しあげ
ますとともに、今日まで本校に寄せられました温かいご
理解とご協力に対しまして心より感謝申しあげます。

卒業生一人ひとりの限りない前途を祝福し、私の式辞
といたします。

令和八年一月二十四日

近畿大学附属新宮高等学校

校長 池上 博基

答 辞

三年A組 垣下 結菜

大寒を過ぎ、まもなく立春。

流れる季節の真ん中でふと日の長さを感じ、せわしく過ぎる日々の中に、どこか梅や桜、ウグイス、蝶の気配がほんの少し感じられる今日のこの佳き日。

私たち卒業生98名のために、これまでの私たちの学びの終わりと、これからの私たちの新しい学びの始まりに、先生方、来賓の方々、保護者のみなさま、在校生のみんなから、このように温かく、心のこもったお祝い、ねぎらい、励まし、名残惜しいっぱいの卒業式を挙行していただき、心よりお礼申し上げます。

3年間の高校生活、6年間の中高一貫生活を無事に締めくくり、すでに式の前から抱えきれないほどの「おめでとう」をいただき、この日を迎えられる、とてもうれしく思います。

6年前、2020年4月、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が全国に出されるなか、私たちは、マスクやフェイスマスクを着けながら、ここで新しい生活を始めました。入学式も教室で、放送を聞く形で、行われました。文化祭も体育祭もなく、分散登校、黙食。ほとんど話をする機会もなく、顔の半分が隠れたまま過ごし、相手の表情を探りながら、お互いに距離を感じていました。当時、私たちが仲良くなっていたけるか、話ができるようになるか、これまでの中高一貫のようなエネルギーいっぱいのクラスになるか、先生方が心配していたと、のちに聞きました。今では、制限があったことも忘れ、先生方の心配がすべて笑い話になるほど、私たちは、仲が良すぎ、ずっと話をし続け、個性が豊かで、かなり面白く、やりすぎるほど突っ走る、エネルギーいっぱいの仲間になっています。

そして、3年前、アグレッシブ、フロンティアコースの新たな仲間が増えました。私たちが経験したようにみなさんも、それぞれに不安や希望を抱えながらのスタートだったと思います。しかし、授業やクラブ、学校行事を一緒に経験する

ことで、よい仲間になり、今では出会う前からずっと友達だったように感じます。

高校2年生では、文化祭や体育祭で、私たちが中心となって準備や運営を行いました。力を合わせて取り組もうとしたが、うまく伝わらないこと、自分が譲れないこと、上手に聞けないこと、愛想よくできないこと、頑固だったこと、笑えたこと、嬉しかったこと、たくさん経験しました。私も未熟で大きな失敗がありました。

そして今年受験勉強の日々でした。思うようにいかず悩むこともありましたが、休み時間や昼休みにお弁当を食べながらの何気ない会話、放課後に同じ教室で過ごした時間や廊下から外と一緒に見た景色など、勉強の合間のふとしたことが大きな支えになっていました。またクラブも引退の時期を迎えました。これまで続けてきたクラブの引退では、やりきった、悔いが残った、あつという間に過ぎた、助けてもらったがんばれた、深い後悔をしたなど、いろんな思いがありました。そして、そんなときにもいつも仲間がいました。こうした仲間との何気ない、今では思い出せない毎日の積み重ねこそが、私たちの素敵な宝物の3年間でした。

このような仲間づくりの毎日は、一緒に「蝶々結び」をつくっていたように私には思えます。

羽は大きく、結び目は固くなるようにと両方から「せーの」で引つ張ったのに、片方のちからが強すぎたり、結んだつもりでほどこいていたり、緩めたつもりで締めていたり、いつも「不格好な蝶」になっていました。過ぎてみれば、この蒼く広い世界の無数に散らばった中から お互いたぐり寄せ合って、結ばれたんじやなく 結んだんだとわかります。

そんな仲間へ これまでありがとう。みんながいてくれたから、ここまで来られたし、これから前に進んでいけると思います。毎日見ていた当たり前の景色が、これからはないんだと思うと、とてもつらいし、淋しいし、心細いです。でも、みんなとの蝶々結びは、これからもずっと結ばれたまままにいると思います。これからは、そのことをエネルギーに

しながら、また進んでいきます。どこかでゆるくなってきたらまた、「せーの」で引つ張りましょう。 またね。

先生方には、時に厳しく、時に温かく、勉強やクラブだけでなく人間的な成長を支えていただきました。わたしたち一人ひとりのことを深く考え、心に寄り添い、私たちの成長を待つて、見守ってくださいましたことに、心より感謝申し上げます。先生方と結ばれたひももこれからも固くきつく結んだままにしておいてください。また遊びにやってきます。

最後に、保護者のみなさまには、蝶々花よと18年間、毎日温かく見守り、掃除や洗濯、わがままや私たちの愚痴や不満を聞いていただき、本当にありがとうございました。私たちの無愛想で無反応、反抗期や無気力のなか、仕事や家事で忙しいときでも、変わらず愛し応援してくれたおかげで、私たちはここでの毎日の学校生活を送り、今日のこの日を迎えることができました。

かあちゃん、とうちゃん、毎日の「おはよう」「いつてらっしゃい」「おかえり」ほんまありがとう 弁当いっつもおいしかった

私たちはこれから、それぞれの道へ進んでいきます。再び新しい人たちと出会い、時には不安になったり、立ち止まったりしながらも、前に進んでいきます。私たちの小さな蝶のような羽ばたきが将来、大きな風を起こして、地域を、日本を、世界を変えていけるように、また誰かを助ける人になれるように精進いたします。これからも長い目で見守ってください。

最後になりましたが、近畿大学附属新宮高等学校がこれからも誰にでも開かれ、よい仲間をみつけ、成長することができる温かい学びの場であり続けることを願い、答辞とさせていただきます。

令和八年一月二十四日

卒業生代表 垣下 結菜

送 辞

一年A組 福本 愛

日に日に増していく陽光の強さに、冬の終わりと春の兆しを感じられる季節と、なりました。この光の移ろいは、これから新しい世界へ踏み出す先輩がたの未来を、静かに、そして確かに、照らし出しているかのようです。本日、この佳き日に卒業を迎えられる皆様、おめでとうございます。この場に参列できない生徒も含め、在校生を代表して、心よりお祝い申し上げます。

三年間の高校生活を終え、新たな門出を迎えられる先輩がたの前には、今、どのような景色が広がっていますか。慣れ親しんだ学び舎を離れる今、その胸には数え切れない記憶が、鮮やかな色彩を持って蘇っていることと思います。私たちは在校生にとっても、先輩がたと共に歩んだ軌跡は、色あせることのない思い出として、今も、心の中で輝き続けています。そして、その歩みの中で見せてくださった先輩がたの姿は、私たち後輩にとって、常に一つの「指標」でした。

近大新宮祭では、先輩がたの独創的なアイデアが生み出す、多くの人を魅了する企画に圧倒されました。そのアイデアが形となるまでのプロセス、特に、壁に当たったときにこそ、互いを助け合い、最後まであきらめずに、かつ情熱を持って取り組む姿勢は、今も強く印象に残っています。その姿から私たちは、物事に真剣に向き合うことの大切さ、そして、困難な歩みの中で積み重ねた経験が、やがて、大きな喜びとなつて実を結ぶことを、教えていただきました。

また、日々の学校生活や部活動においても、互いに高め合い、最後までやり抜こうとする先輩がたの姿は、私たちの進む道を照らす、確かな光でした。

私たちは先輩がたから、多くのものを受け継ぎました。仲間を思う気持ち、挑戦する勇氣、そして、最後までやり抜く強さです。

私たち在校生も、本校の校訓である「人に愛される人、信頼される人、尊敬される人になろう」という精神を心に刻み、先輩がたが築いてこられた、この、学び舎の伝統を受け継ぎ、さらに発展させていくことを、ここに誓います。

これから先、先輩がたの前には、まだ見ぬ世界と新たな挑戦が待っていることでしょう。決して平坦ではない道の中で、立ち止まりそうになることもあるかもしれません。しかし、この近大新宮で過ごした日々と、仲間と共に積み重ねてきた経験は、必ず先輩がたの背中を押してくれるはずです。

どうか自分自身を信じ、胸を張って、それぞれの道を歩んでいくください。私たちはこの学び舎から、先輩がたのこれからの活躍を、心より応援しています。先輩がたの未来が、希望と光に、満ちたものでありますように。

長いさなぎの期間を経て、今、蝶となつて春の光の中へ飛びたつてゆく先輩がたのご活躍を祈念して、在校生代表の送辞といたします。

令和八年一月二十四日

在校生代表 福本 愛

先生方から贈る言葉

三年A組 担任 森 一之



ご卒業おめでとうございます。今までとこれからの学びをよい経験にして、自分の時間をもてる人になって、自分の世界をよりよいものに変えていくってください。このあと多くのよい人たちに会えますように。

「時間をケチケチすることで、ほんとうはぜんぜんべつなにかをケチケチしているということには、だれひとり気がついていないようでした。じぶんたちの生活が日ごとにまづしくなり、日ごとに画一的になり、日ごとに冷たくなっていることを、だれひとりみとめようとはしませんでした。」

「人間というものは、ひとりひとりがそれぞれのじぶんの時間を持っている。そしてこの時間は、ほんとうにじぶんのものであるあいだだけ、生きた時間でいられるのだよ。」

「時計というのはね、人間ひとりひとりの胸のなかにあるものを、きわめて不完全ながらもまねて象ったものなのだ。光を見るためには目があり、音を聞くためには耳があるのとおなじに、人間には時間を感じとるために心というものがある。そして、もしその心が時間を感じとらないようなときには、その時間はないもおなじだ。」

ミヒヤエル・エンデ『モモ』より

三年C組担任 奥村 兼大



みなさん、卒業おめでとうございます。

3年間の高校生活を振り返ってみてどうでしたか？充実した時間を過ごせましたか？

高校生活を卒業して、これからの人生、充実した時間を過ごすにはあなたたち次第です。あなたたち自身がどう行動するかで変わります。自分らしさを大事にしているいい人生にしているってください。

時には、苦しいときもあると思います。そんな時は大事な家族や高校生活で出会った仲間たちに頼ってください。それと、今までも、そしてこれからあなたたちの人生には、陰で多くの人たちが助けになってくれています。その人たちへの感謝の気持ちは、人として決して忘れないでください。あなたたちにとって良い人生になることを願っています。

三年D組担任 大倉 佑介



卒業おめでとう。

高校三年間の思い出は楽しいだけでなく、大変なこともたくさんあり、様々な壁にぶち当たってきたと思います。でも、みなさんは多くの人に応援され、支えられ、その壁を乗り越えてきました。これまで、みなさんを応援し、支えてくれた方たちへの感謝を忘れず、新たなステージで大暴れしてください。そして、これからも多くの人に「応援される人」であり続けてください。

三年E組 担任 池田 大地

各賞受賞者

近畿大学学園賞

新谷 羽奏 (A組)

校長賞

川崎 真衣 (A組)

和歌山県知事賞

石川 和心 (C組)

私立中高連合会長賞

曾越 胡未 (D組)

皆さん、卒業おめでとうございます。
この3年間、喜びも悩みも、クラス全員で分かち合いながら過ごしてきた日々は、私にとってもかけがえのない宝物です。成長していく皆さんの姿をそばで見守り、支え、時に励まし合いながら歩んだ時間は、担任として本当に誇らしく、幸せなものでした。
これから歩む道は、それぞれ違う方向へ進んでいきます。しかし、どんな道を選んでも、皆さんがこれまで積み重ねてきた努力と優しさ、そして仲間を思う心は、必ず力になります。うまくいかない日があっても大丈夫。立ち止まり、深呼吸して、また歩き出せばいいのです。
皆さんの未来が明るく、希望に満ちたものでありますように。

皆勤賞

A組 阿川 榛花

榎本 悠紀

垣下 結菜

新谷 羽奏

E組 前田 琉成

皆さんのことを応援し続けています。
卒業、本当におめでとう。

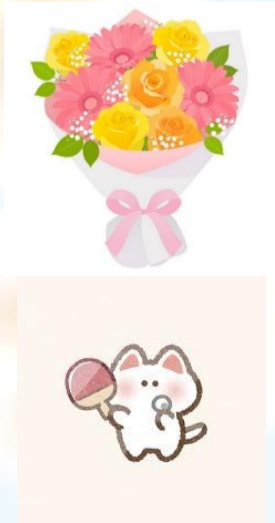
後輩からのメッセージ

《硬式野球部》

三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。先輩方と過ごした時間は長いようで短い、すごく楽しい時間でした。
甲子園出場というチームの目標を達成できるように頑張ります。
先輩方はこれからいろいろな道に進まれると思いますが、更なるご活躍を期待しています。これからも頑張ってください！

《卓球部》

卒業おめでとうございます。
短い期間でしたがお世話になりました。もっと一緒に沢山卓球したかったです。今までありがとうございました。
大学に行っても頑張ってください。応援しています！



《空手道部》

ご卒業おめでとうございます。
先輩方はいつも笑顔で優しく接してくれ、クラブがより楽しくなりました。たくさんさんの所に遠征で行って、たくさんさんの思い出ができました。そして、どこへ行っても礼儀と感謝を忘れない姿は憧れであって目標です。

卒業なさってからたくさんさんの楽しみがある一方、今までにないような困難にぶつかるかもしれません。そのときも礼儀と感謝の気持ちを忘れないように乗り越えてください。応援しています。

最後になりましたが、先輩方から私たちはたくさんさんのアドバイスをはじめ、心構えや技術を教えていただきました。卒業してからも先輩方のご健闘をお祈りしています。今まで本当にありがとうございました。

《ソフトテニス部》

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。
先輩方はいつも明るく元気に接してくれました。そのおかげで、いつも明るく楽しく、皆で支え合いながら部活をすることができました。そんな先輩たちと学校で会うことができなくなるのはすごく寂しいです。これからは、それぞれの道を進んでいく中で大変なこともあると思いますが、自分を信じて頑張ってください。後輩一同応援しています。今まで本当にありがとうございました。

《サッカー部》

三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。
先輩方と過ごした時間はとても早く過ぎるようになってしまいました。いつも僕たちを引っ張ってくださってありがとうございました。今度は僕たちが後輩たちを引っ張れるようになります。先輩方を超えられるよう毎日練習に励みます。先輩方も自分の道を信じてがんばってください。
本当にありがとうございました。

《女子バスケットボール部》

ご卒業おめでとうございます。
先輩方と一緒に過ごした時間は私たちにとって最高の思い出です。厳しい練習の中でも、先輩方がアドバイスや優しく声をかけていただいたお陰で、日々頑張ることができました。ずっと側で支えてくださり、本当にありがとうございました。
これからも大変なことがたくさんあると思いますが、先輩方らしく頑張ってください。後輩一同、心から応援しています。

《男子バスケットボール部》

3年生のみなさん、このたびはご卒業おめでとうございます。日頃より温かくご指導くださり、本当にありがとうございました。先輩方が抜けられることで不安もありますが、教えていただいたことを胸に、これからの部活動をしつかり支えていきたいと思っています。先輩方の新たなステージでのご活躍を、部員一同心よりお祈りしています。どうかこれからも頑張ってください。

《なぎなた部》

高三生の先輩方、ご卒業おめでとうございます。
入部したばかりで、何をすればいいのかわからなかった時から、先輩方はいつも優しく丁寧に教えてくれました。試合の直前、緊張していた時も先輩方は本当に明るく声をかけて励ましてくれて、試合中も絶えず大きな声で応援して下さったおかげで、いい緊張感をもって試合に臨むことができました。そんな先輩方だからこそ、1人取って勝ち進むことができました。試合があったら近くで見せて、強く感じました。たくさん悔しい思いを経験してきたからこそ、誰よりも私達一人一人の気持ちに寄り添い、支えて下さったのだと思います。悔いも、努力も、涙も乗り越えてきた先輩方の姿は私達にとって大きな憧れです。7月4日外でも親身になって相談に乗ってくれたり、本当に心強い存在でした。先輩方のようにしんどい時も協力し合い、お互いに高め合っていける存在になっていきたいです。なぎなたを通してかけがえのない経験や学びを教えてください。ありがとうございました。これからのご活躍を心から応援しています。

なぎなた部の先輩方のことが大好きなかわいい後輩より。

《メディア部》

ご卒業おめでとうございます。
先輩方は、まだまだ半人前だった私たちを、いつも前に立ち、引っ張ってくれました。初めての場面でも皆さんの背中はとても頼もしかったです。行事やイベントの前に忙しくも楽しくやっていた頃を思うと少し寂しくなります。しかし先輩方に教えていただいたことは一般企業との共同制作や地域とのコラボレーションなど、現在の様々なところで活かしています。これからも部員一同協力し、目標に向かって励んでいきます。
いつも明るく、優しく私たちを見守ってくれていた先輩方の姿は私たちの憧れです。このあたたかい雰囲気の後輩に受け継いでいこうと思います。

今まで本当にお世話になりました。

《書道部》

ご卒業おめでとうございます。
書道パフォーマンスや文化祭の準備、日々の練習の中で、いつもチームをまとめて引っ張ってくださった先輩方は本当に頼りになりました。まだわからないことや足りないことも多い私たちですが、先輩方から教えていただいたことを大切にして、これからも書道部が私たちに与えてくれる部活であり続けられるよう、みんな頑張っています。先輩方のこれからのご活躍を楽しみにしています。

《スーパーサイエンス部》

皆さんご卒業おめでとうございます。
時間としては短かったですが、人生においてはとても長く、色々あった大切な時間だったと思います。部活では、楽しい合宿、天体観測、前部長のゼリー、水生昆虫などなど楽しい思い出が沢山ありましたね。その中で僕ら後輩は色々な事を学ばせていただきました。（イベントなどでのヒトとの接し方など）

これから進まれる道は今よりも理不尽でキツいかもかもしれません。落ち込む日もあると思います。そんな時は、楽しい部活の日々を思い出して下さい。

最後に「知が人や社会の役に立たなければいけないなんて発想はクソだ。」ラファウ（『チ。』第8集）の言葉を贈ります。

何があろうとも好奇心を捨てないで下さい。今までありがとうございました。

Arivederci

《吹奏楽部》

ご卒業おめでとうございます。先輩たちの部活へのいつもの熱意、私たちの前でいつもの的確なアドバイスする姿、そしていつもの笑わせてくれるセンスと姿勢、先輩と過ごしたこの部活での思い出は数え切れません。

一歩先を歩いている先輩たちは、私たちすべての後輩のとても大きな目標です。家族のような優しさと楽しさと、誰よりも最後まで妥協しない厳しさとを持っていました。

美音と笑いの波が引いては寄せるサクソフォン、華やかな旋律が美しいお茶目なフルート、音にこだわり夜な夜な語りあった哲人のクラリネット、はじけた笑顔で舞うように打つパーカッションの達人、おひさまのようにあたたかく見守るお母さんフルートとピアノ、心にギヤルを飼う真のツツコミ担当のクラリネット、私たちを惹きつけた月夜のドラマー、凜としていて類を見ない慧眼の持ち主のユーフォニアム、私たちを関西大会にまで連れて行ってくれた勇者8名でした。

流れる季節の真ん中で、私たちは先輩たちと「想い」を音に乗せてきました。そして新たな舞台に立ち気付いたことは、一人じゃないということです。音を運ぶつむじ風、時にはぶつかり合いもあったと思います。そんな時に先輩と見上げた空はなんだか綺麗で見とれました。上手いかないこともあるけれど、先輩がいてくれたことでそれさえ小さく思えるほど強くなれました。そして後輩にとって私たちもそうでありたいです。また3月の定期演奏会で一緒に演奏できることを楽しみにしています。これまでありがとうございました。

《ダンスサークル》

ご卒業おめでとうございます！

私たちはいつも笑顔で優しい先輩方からたくさんのことを学びました。そして明るく楽しいサークルにしてくださったこと、とても感謝しています。先輩方から学んだことを次に繋げられるようにみんなで頑張っていきます！

これからも夢に向かって頑張ってください！ダンスサークル一同、先輩方のご活躍を心から応援しています！本当にありがとうございました！

《茶道部》

茶道部



卒業おめでとうございます。
先輩方のおかげで、沢山の事を学ぶことができ、温かい雰囲気楽しくお稽古に励むことができました。イベントなどでは、皆んなをまとめてくれたので大変助かりました。今までお世話になり、ありがとうございました。今後の活躍を応援しています。

茶道部一同

《華道部》

華道部の卒業生へ



↑先輩方への感謝を込めて、高2年生が花を生けました。

ご卒業おめでとうございます。
先輩方の作ってくださった和やかな部活動に私たち後輩は感謝しています。気さくな先輩方が筆頭となり、紡いできた部の雰囲気を私たちが受け継いでいきます。
先輩方の今後のご活躍を部員一同応援しています。

部員一同より

